

筑波総合診療グループ発表者・企画責任者リスト

in 第9回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

会期:2017年5月13日(土)~14日(日)、12日(金)プレ kongress

会場:サンポートホール高松

高松シンボルタワー/JR ホテルクレメント高松

【筑波総合診療グループ発表者:時系列で記載】

*演題名:Oは口演、Pはポスター、ISはInternational Session

会場(セッション名)

5月12日(金)

● 11:40-13:10 第3会場

キックオフシンポジウム

「未来研究リーダー人材育成プロジェクト報告会」

企画責任者:前野 哲博

● 13:20-14:50 第8会場

プレ kongress ワークショップ 10

「プライマリ・ケアの現場における多職種カンファレンスのプロセスとアウトカムを評価する」

企画責任者:春田 淳志

● 15:00-16:30 第8会場

プレ kongress ワークショップ 15

「退院前カンファレンスを変えよう～LIFE SUPPORT カンファレンスのススメ～」

企画責任者:鈴木 諭

● 16:40-18:10 第3会場

プレ kongress ワークショップ 16

「来たれ!ベテラン家庭医-体験しよう“おとなの”OSCE-」

企画責任者:高木 博

5月13日(土)

● 12:15-13:15 第13会場

学会本部企画シンポジウム

「プライマリケアにおける人工知能の可能性」

司会・演者:前野 哲博

● 12:15-13:15 第10会場

インタレストグループ 7

「どうする!?どうした!?家業継承を考える」

企画責任者:高木 博

● 10:30-11:58 第7会場(慢性疾患のケア・幼小児・

思春期のケア・メンタルヘルス)

O-015 舛本 祥一

「プライマリ・ケア外来における PIMS と心理・精神的要因との関連性について」

● 11:00-12:00 ポスター会場(卒前教育)

P-011 稲葉 崇

「東邦大学出身の若手総合診療医による医学生向けセミナー「東邦大学ジェネラリストセミナー」活動報告」

● 11:00-12:00 ポスター会場(診断と検査⑤)

P-090 福田 幸寛

「急性心不全治療中に急性好酸球性肺炎を発症した一症例」

● 15:00-16:00 ポスター会場(診断と検査②)

P-074 宮崎 賢治

「病歴と身体所見で診断に迫ることができる一過性全健忘の一例」

● 15:00-16:00 ポスター会場(診断と検査⑥)

P-101 永藤 瑞穂

「日本のプライマリケアにおける高齢者のアルコール使用障害を検出するための SMAST-G 日本語版の開発」

● 15:00-16:30 第2会場(日野原賞候補)

H-4 小曾根 早知子

「要介護高齢者への着衣上からの血圧測定」

● 16:00-17:00 ポスター会場(卒後・生涯教育)

P-043 高橋 弘樹

「後期研修医の教育実践のビデオレビューではどのような学びが促進されたか?」

● 16:45-18:21 第9会場(診断と検査②)

O-088 木村 紀志

「当院における餅による食餌性腸閉塞の検討」

O-093 高橋 聡子

「日本のプライマリケアにおけるアルコール過剰摂取のスクリーニングのための AUDIT-C の診断精度の検証」

O-096 橋本 恵太郎

「うどんを食べて失神した椎骨脳底動脈循環不全の一例」

5月14日(日)

● 9:15-10:45 第6会場

ワークショップ 24

「後期研修プログラム はじめの一步 ～ポートフォリオ作成支援を中心に～」

企画責任者:横谷 省治

● 9:30-10:35 ポスター会場(International Session)

IS-P-14 Mikiya Sato

「A health system research: comparison of formal and informal time of long-term care for the frail elderly in Japanese community」

IS-P-15 RYO OHSAWA

「Resident-centered RAT (Resident as Teacher) curriculum innovated by Residents」

IS-P-17 Haruka Kuno

「Evaluation of nutritional status in Japanese home-care patients using The Mini Nutritional Assessment」

9:30-10:35 ポスター会場(在宅医療③)

P-184 大塚 貴博

「在宅へ移行し予後が当初の予測よりも延長した進行がんの2例」

● 9:30-10:35 ポスター会場(多職種連携③)

P-311 山本 由布

「多職種連携協働の評価ツール AITCS の日本語版の開発」

P-314 後藤 亮平

「特養の介護士が理学療法士と協働する中で、どのような抵抗を示し、いかにリハビリの視点を開花させたか?」

● 10:35-11:25 ポスター会場(診療の質改善①・ICT・遠隔医療)

P-221 高木 博

「当院で実践した「番号札」を用いた外来待ち時間対策」

● 11:25-12:25 ポスター会場(在宅医療①)

P-170 細井 崇弘

「1人で決める!地域中核病院からの訪問診療部門確立へのプロセス」

● 11:25-12:25 ポスター会場(終末期のケア)

P-192 稲葉 崇

「急性期病院における高齢患者の死亡時刻の検討」

● 13:45-15:13 第13会場(在宅医療・緩和ケア・終末期のケア)

O-191 浜野 淳

「診療所外来患者における緩和ケア・アプローチの必要性に関する研究」